

九州教区青少年委員会 こひつじ九州版

Vol.19

2022.8.29 発行

発行責任者
九州教区
青少年委員会

やったぜ!サマーキャンプ in 福岡夜須

2020年の2月から、日本中がコロナ禍に突入し、九州教区のキャンプもそれに合わせて中止、中止を余儀なくされていました。しかし、とうとうやりました。やっしまいました。2022年の8月16日(火)~18日(木)の二泊三日、福岡県の夜須高原青少年自然の家でキャンプを行うことが出来ました。

今年のテーマは「LIFE WITH JESUS ~イエス様と一緒になら大丈夫~」です。参加した子どもは30名程度で、大人も30名程度でした。

3年ぶりの集まっのキャンプに、桶狭間キリスト教会の平松恵子先生が来て下さいました。先生は二人の小学生の娘さんたちを連れて来て下さり、集まった小中高生の子どもたちに、イエス様と一緒になら大丈夫と、3回のメッセージで語って下さいました。

最初の一日目は、久しぶりにリアルで集まった子どもたちが心を開くように、レクリエーションを行いました。グループ分けを行い、そのグループでうまい棒を使ったタワーを作ってもらい、高さを競いました。子どもたちは手に汗握り、うまい棒を握り、ゲームを楽しんでいました。

二日目はあいにくの雨で、草スキーが出来ませんでした。子どもたちは午前中、館内ビンゴを楽しみました。午後からは、平松恵子先生がイエス様を信じることを語って下さり、子どもたちは真剣に聞き入っていました。晩も雨のために予定していたキャンプファイヤーは出来ませんでした。代わりにキャンドルの灯の中、平松恵子先生が、イエス様に祈ることの大切さを語って下さいました。最後には祈る時間を持ち、祈ってほしい子どもたちのために、引率の先生方が祈って下さいました。



三日目は二日間続いた雨も止み、最後の集会では平松恵子先生が、すべての人に福音を伝えることを子どもたちに勧めて下さいました。応答の時には子どもたちが「福音を伝えたい」と手を挙げてくれました。

今まではずっとオンラインの集会が続いていました。これも恵みでしたが、やはりリアルで集まり、時間を共に過ごすということは、オンラインでは得られない喜びがありました。子どもたちは久しぶりの再会、新しい友達との出会いに喜び、寸暇を惜しんで楽しんでいました。空き時間の間も、あちらこちらで、子どもたちの明るい声が響いていました。



コロナ禍での開催で、一番心配していたことは、集団感染が起こることでした。キャンプ中に感染者が起こることはありませんでしたが、帰宅の翌日、参加者の中から感染者が起こったことは残念なことでした。しかし、それ以上の広がりを見せることはなかったため、集団感染は防ぐことが出来たことを、主に感謝しました。

ある子どもたちは、今回のキャンプを終えるなり、次回の春のキャンプの話をしていました。次回の春のキャンプの内容についてはこれから決めますが、今回の経験を活かしながら、主に導かれて、またリアルで集ってのキャンプを行いたく願っています。

